

悪天候の中進む訓練参加者(写真:捜索救助隊提供)

厳冬期訓練で連携強化

八幡平遭難対策委員会捜索救助隊厳冬期訓練

八幡平遭難対策委員会捜索救助隊の厳冬期遭難救 助訓練は2月18日、源太ヶ岳周辺で行われました。

訓練には、同隊員や岩手警察署、八幡平消防署な ど18人が参加。実践さながらの風雪の中、ツアース キーコースの調査や山スキーでの登坂・滑走など、遭 難救助技術の向上を中心とした訓練を実施しました。 田中耕一隊長は「悪天候のため防災航空隊の出動は なかったが、有事の際には関係機関との連携が大事。 今後も連携を深めたい | と訓練を振り返りました。

感謝の心が地域に育つ

寺田小学校が小さな親切実行章を受賞

「小さな親切|運動実行章伝達式は2月13日、寺田小 体育館で行われ、同運動県本部(代表・田口幸雄岩手 銀行頭取)から同校に実行章が贈られました。

同校は例年[地域ふれあい収穫祭]を開催し、児童が 田植えや稲刈り、脱穀まで手掛けたもち米を使って餅 をついて振る舞い、交通指導や地域行事、図書ボラン ティアなどでお世話になった人たちに感謝を伝えて います。その交流活動が、地域に温かい心の輪を広げ たと認められ、受賞に至りました。



小さな親切実行章を受賞した寺田小の皆さん



落成式でテープカットを行う代表者たち

地域活性への基点完成

J R 花輪線大更駅自由通路落成式

IR花輪線大更駅自由通路落成式は2月23日、通 路西口(駅舎側)で行われました。

式には、関係者や市民ら約50人が出席。田村市長 は「大更駅および自由通路は、インバウンド誘客の 基点となる施設。大更駅周辺のにぎわいづくりに向 け、先陣を切っての落成式をうれしく思う」とあいさ つ。駅利用者の佐々木俊介さん(高校1年)と清水畑 めぐみさん(高校2年)ら代表者7人がテープをカッ トし、新たなまちづくりの一歩を祝いました。

伊藤重朗さん・良江さん夫婦に成婚祝い金として30万円分の市共通商品券を贈呈(1月30日、市役所)



市婦人消防協力隊員が心肺蘇生法 を中心とする普通救命講習会を受 講(2月18日、市防災センター)

スキー場で親子運動会

田山保育所・あしろ保育園・畑保育園親子雪遊び

田山保育所、あしろ保育園、畑保育園の3つの保 育所(園)は2月17日、田山スキー場で親子雪遊びを 合同開催しました。

2回目となった今年は、約130人が参加し、6つ のチームに分かれて競い合いました。雪が降りしき る中、参加者はソリを使ったリレーや玉入れなどの 競技を通して交流を深めました。

田山保育所の阿部藍凛ちゃんは「雪が冷たかった けど楽しかった | と笑顔を浮かばせていました。



子どもをソリに乗せて親が引っ張る「親子馬力レース」



卓球バレーを初体験し和気あいあいと楽しむ参加者

卓球バレー楽しく学ぶ

卓球バレー講習会

市内で初開催となる卓球バレー講習会は2月14日、 大更コミュニティセンターで行われました。

当日は工藤義則さん(広報はちまんたい1月号の 『キラリ輝人』で紹介)が講師を務め、大更地区老人クラ ブ連合会の会員など約40人が参加。卓球台を囲んでい すに座ったままボールを打ち合う卓球バレーを体験 しました。同会事務局長の松村幸一郎さん=松川=は 「笑い声が絶えず誰でも楽しめるスポーツ。このよう な競技は初めてですが面白い」と楽しんでいました。

市内で新たに3人認定

2017年度県農業農村指導士認定証書交付

2017年度県農業農村指導士認定証書交付式は1月 30日、花巻温泉ホテル千秋閣で行われました。

農業農村指導士に田村靖さん(トマトや菌床シイ タケ、水稲など)=五百森=、藤原純子さん(和牛繁 殖や水稲など)=舘腰=が、青年農業士には髙橋勝哉 さん(和牛繁殖や野菜、水稲、削蹄作業など)=椛沢 =が新たに認定されました。

今後も、地域農業の発展と農村地域活性化に意欲 的に取り組みます。

約440人の参加者が熱戦を繰り広げ

た八幡平エンジョイ雪合戦大会(2 月10日、サラダファーム特設会場)



認定者の皆さん(左から田村さん、藤原さん、髙橋さん)



たわわに実った真っ赤なイチゴを 頬張る寺田保育所の園児(2月6 日、サラダファーム食育体験)



冬季火山噴火を想定した初めての救助訓練を県警が実施(2月19日、 八幡平リゾートパノラマスキー場)

すなっぷギャラリー